

96年度夏合宿 感想

<北海道party>

(行程) 旭岳-忠別岳-化雲岳-トムラウシ山(途中下山) 5泊6日
西田 秀輝(3回生 L)
なんでロープウェイが止まっているんだ!でもそこは大自然だった。
後藤 秀明(3回生 sL)
トムラウシ温泉はいい湯だった。
山崎 茂雄(2回生)
思っていた以上に楽な山行だった。
田村 賢司(1回生)
天気が悪かっただけに晴れたときの展望には素晴らしいものがあった。
森田 義文(1回生)
ド快晴のとき再び北海道を訪れたい。
谷本 愛(1回生)
楽あれば苦ありの山行だった。

<北アルプス縦断party>

[行程] 烏帽子岳-野口五郎岳-三俣蓮華岳-黒部五郎岳-笠ヶ岳 7泊8日
岩倉 里英子(3回生 L)
リーダーという立場を利用し、マイペースな山行にしてみました。3度目にしてやっと夏合宿の楽しさを知りました。
上田 穰(2回生 sL)
出発まではいろいろアクシデントはありましたが、行ってみれば晴天続きで北アルプスを堪能できたよい山行でした。
中野 貴巳子(2回生)
昨年とは違ってかわって今年の北アルプスはすばらしかったです。
長谷川 夏樹(1回生)
直前に変更があったものの、すばらしい天気に恵まれすばらしい山行でした。とくに黒部五郎周辺のカールには、花が咲き乱れ、小川が流れ、ぜひもう1度と思うところでした。
竹内 利行(1回生)
天気が悪くなくてよかった。
長井 航(1回生)
夏山って最高。

<南アルプスparty>

(行程) 三伏峠-荒川岳-赤石岳-聖岳-上河内岳-光岳 8泊9日
阪本 京子(3回生 L)
やっぱり山は南アルプスです。来年は一人で登っているかもしれません。
小西 陽介(3回生 sL)
最後の夏合宿を思い残すことなく過ごせました。北もいいけど南もよかった。
前川 昌宏(2回生)
さわやかな夏のアルプスを堪能できてよかったのだ。
市山 祐司(1回生)
よかったと思う。
掛布 真司(2回生)
僕もよかったと思う。
得田 馨理(1回生)
9日間も山で暮らすなんて信じられなかったけどあっという間で楽しかった。

<北アルプス横断party>

[行程] 燕岳-槍ヶ岳-双六岳-黒部五郎岳-薬師岳 7泊8日
老田 浩章(3回生 L)

疲れたが充実した山行であった。

小川 利枝(2回生 sL)

いろんな百名山を制覇できたのでうれしい。あと、高岩君がステキだった。

高岩 伸行(2回生)

メジャーな北アルプスの山々に登ることができてよかった。

佐藤 豪一郎(1回生)

高岩さんのエールをじかに見ることができて幸せでした。

林 司(1回生)

転んで痛かったです。

行事報告(96年度夏合宿以降)

*利尻PW 8/11-8/12

札幌-(車中泊)-稚内-利尻島-北麓野営場₁-利尻山-フェリー乗り場
L西田 sL後藤 牧原 山崎 森田 谷本 田村

*熊野川PW 8/20-8/22

金沢-田戸₁-赤木川合流点₂-河口付近-金沢
L上田 sL金吉 三浦 老田 川本 後藤 長谷川 田村 佐藤

*中央アルプスPW 9/2-9/4

金沢-しらび平-千畳敷-駒ヶ岳キャンプ場₁-木曾駒ヶ岳-空木岳-駒ヶ岳キャン
プ場₂-千畳敷-金沢
L西田 sL小西 小川 長谷川 得田

*飯豊連峰PW 9/13-9/16

金沢-胎内ヒュッテ₁-門内小屋₂-飯豊山本山小屋₃-川入-金沢
L老田 sL友野 橋本 西馬 中野 長谷川

*倉谷PW 9/14-9/17

犀川ダム-五段の滝手前₁-ワンゲル平からの沢との合流点₂-奈良岳₃-千丈温泉
L金吉 sL佐川 宇根 三浦 小泉 市山 林 竹内

*小屋作業 9/21-9/22

CL川本 (4回生4人 3回生5人 2回生8人 1回生10人)

*百四丈PW 10/10-10/12

金沢-山崎旅館-黒滝手前の河原₁-百四丈の滝-清浄が原₂-室堂-別当出合
L金吉 sL橋本 石川 小泉 佐藤 市山 長谷川

*口三方歩荷トレ 11/1-11/2

登山口手前₁-登山口-口三方岳-千丈温泉
L前川 sL小西 老田 加藤 高岩 林 河村

編集後記

「上級生になったら、下を動かすことを覚えにゃいかん。それが相手の為にもなるんや。自分が動いとりにゃいいもんやないんや。」

どうしても身体が先に動いてしまう私に、口から先に生まれた男高村さんは諫めたものでした。それも、例のごとく無邪気な笑顔を浮かべながら。

納骨の日、五月晴の空の下、あどけないさおりちゃんに、きびきびお墓の用意をされる千佳子さん。そして、かるうじて立っている風情のお父さん。この春秋に富んだ若者達の間はどうして息子の顔が交じっていないのか…あきらめきれぬ表情を、上の息子二人が大学生となった今はかえって鮮明に思い出すことができます。

他大学のWVが踏破し、問い合わせもくるというのに、何故我が金大WVにBH-白山完全踏破の記録がないのか？一年の合宿参加を自粛したほど決してタフとはいえない身体だったのに、情熱を燃やし、かつやり遂げた人でした。その彼の墓前には、前日BHから取ってきたキクザキイチリンソウと、これは仕方がないので花屋のクロユリを、倉谷の水にさして供えてもらいました。

卯辰山の彼のお墓へ行くと、彼の声が聞こえるのです。

「生きとるやないけ。生きとれば、言いたいこと言えるやんけ。言いたいことは言ってこにゃいかん。やれることはやってこにゃいかん。」

うるさい男や。こんなことにはまった何分の一かは、えいちゃんにも責任あるんや！



OB会報「やまざと」 '96冬号

発行日 平成9年1月

発行者 大島 良治

編集責任者 舟田 節子

印刷 中川 晃成

金沢大学ワンダーフォーゲル部OB会

事務局 金沢市橋場町10-49

☎0762-22-9288